

# 現代史研究

50

『現代史研究』50号に寄せて ..... 三宅 立

## 論文

第二次大戦期の「西欧統合」構想と自由フランス（1943年—1944年） ..... 宮下雄一郎

「ウクライナ民族主義者組織（OUN）」と「ウクライナ蜂起軍（UPA）」の  
ウクライナ独立国家構想とその戦略 —対ソ政策と対ポーランド政策を中心に—  
..... 柳沢 秀一

ムッソリーニ独裁とサブリーダー

—ファシスト体制の転換と威信の構造— ..... 小山 吉亮

フランスの「解放」と「帝国」

—植民地現地人兵の戦争貢献に対する本国政府の姿勢— ..... 松沼 美穂

## フォーラム

比較ジェノサイド研究の射程 —20世紀前半の事例から— ..... 石田 勇治

—民族二国家論について ..... 黒川 康

## 書評

川越修『社会国家の生成—20世紀社会とナチズム』（岩波書店、2004年） ..... 市野川容孝

## 文書館事情

イギリス文書館事情 —二つの地方文書館を中心に— ..... 坂下 史

2004年

現代史研究会

# 現代史研究

51

## 論 文

ナチ体制の政策決定要因をめぐる一考察

- ドイツ占領下セルビアにおける抵抗運動対策をてがかりに— …………… 若林美佐知  
技術職員とドイツ革命 —技術職員の労働組合と立憲的工場制構想— …………… 秋山 千恵

## 研究ノート

ドイツ・ヴィルヘルム時代における市民的性道德と新しい性道德

- O.グロース“エロス論”がヴェーバー・サークルに与えた影響— …………… 水戸部由枝  
ニュルンベルク法再考  
—「経済への不当干渉防止」期の第三帝国のユダヤ人政策— …………… 山本 達夫

## フォーラム

- 『現代史研究』50号発行に際して—記念懇親会における挨拶— …………… 西川 正雄  
マルスとクリオの間で—ドイツにおける軍事史の勃興、没落およびルネサンス  
…………… ベルト・ヴェーグナー（中田潤/山根徹也訳）

## 書 評

姫岡とし子著「ジェンダー化する社会

- 労働とアイデンティティの日独比較史—（岩波書店 2004年3月）…………… 勝田 由美

## 文書館紹介

- グルジアの文書館事情 …………… 前田 弘毅

2005年

現代史研究会

# 現代史研究

52

## 論文

欧州横断ネットワークの先駆

- 欧州統合初期において労働組合が開いた可能性と限界— …………… 鈴木 均  
ウイルソン政権におけるイギリスの対EEC政策  
—欧州「歴訪」と英欧関係, 1967年— …………… 芝崎 祐典  
「欧州の年」の英米関係, 1973年  
—英米の外交スタイルの相違を中心に— …………… 齋藤 嘉臣

## 研究ノート

ふつうのドイツ兵とナチ・イデオロギーの関係をめぐって

- 第二次大戦末期の一兵士の野戦郵便より— …………… 小野寺拓也  
ユダヤ人財産の返還補償の再展開  
—アメリカにおけるホロコースト訴訟との関連で— …………… 武井 彩佳

## 史料紹介

- 「フランス敗れたり・批評集」に見る日本世論の動向 …………… 平瀬 徹也  
アルジェリア所蔵の植民地期史料とそれをめぐる論争 …………… 工藤 晶人

## 書評

場 優著『オーストリア＝ハンガリーとバルカン戦争

- 第一次世界大戦への道— (法政大学出版局, 2006年) …………… 木村 真

## 文書館紹介

チェコの文書館事情 …………… 桐生 裕子

## 声明

教育基本法案に反対し、同法案の先取りの動きに抗議する

- 学問の自由と教育の自由の尊重を求めて—

2006年

現代史研究会

# 現代史研究

53

## 論文

社会主義ポーランドの建設とロマ

- 「ジプシー」をめぐる政策とプロパガンダ— …………… 加藤 久子  
CSCEにおける人の移動の自由および人権条項の起源  
—NATOによるデタントの変容, 1969—1972年— …………… 山本 健

## 研究ノート

第一次世界大戦が職場のジェンダー秩序に与えたインパクト

- ドイツ帝国郵便を事例にして— …………… 石井 香江  
ヴィシー期フランスの対インドシナ文化政策 …………… 難波ちづる

## フォーラム

沖縄戦における「集団自決」と教科書検定

- …………… 林 博史  
歴史政策の可能性  
—ドイツにおける有効性と前提, そして限界と課題について— …………… 近藤 孝弘

## 書評

Robert O. Self, *American Babylon: Race and the Struggle*

- for Postwar Oakland*, Oxford: Princeton University Press, 2003. …………… 高廣 凡子

## 文書館事情

スペインのアフリカ植民地研究のための文書館

- 関連現代史研究も視野に入れて— …………… 深澤 安博

## 声明

日本軍による沖縄戦住民「集団自決」強制の高校日本史教科書検定による  
削除に対する抗議声明

2007年

現代史研究会

# 現代史研究

54

## 論文

「国民」を規定する

—ヴィルヘルム期「ドイツ系帰国移住者のための扶助協会」の活動— …… 伊東 直美

ナショナリズム・ファシズム・コラボレーション

—フランス極右週刊紙『ジュ・スイ・パルトウ』(1930-1944)のドイツ観— …… 南 祐三

## 研究ノート

パリ講和会議とアルメニア問題 …… 吉村 貴之

## 書評

西川正雄著『社会主義インターナショナルの群像 1914-1923』 …… 三宅 立

斎藤 哲著『消費生活と女性 ドイツ社会史(1920~70年)の一側面』 …… 田村 栄子

## 追悼文

西川正雄先生のこと …… 伊集院 立

斎藤哲さんの思い出 …… 日暮美奈子

2008年

現代史研究会

# 現代史研究

55

## 論文

ヴァイマル共和国における監獄改革と受刑者処遇の実際

—不服申し立て史料の検討を通して— ..... 佐藤 公紀

## 研究ノート

西ドイツ社会国家の「学習過程」

—1970年代半ばの2大政党の動向を中心に— ..... 白川 耕一

連邦大統領テオドール・ホイスと国歌論争 ..... 爲政 雅代

## 特別企画

座談会 現代史研究と1989年—回顧と展望

## 書評

小川浩之著『イギリス帝国からヨーロッパ統合へ 戦後イギリス対外政策の転換と

EEC加盟申請』(名古屋大学出版会, 2008年) ..... 木畑 洋一

野村真理著『ガリツィアのユダヤ人 ポーランド人とウクライナ人のほざまで』

(人文書院, 2008年) ..... 長沼 宗昭

## 文書館事情

労働運動研究のためのマルチ・アーカイブ・リサーチ

—欧州統合, 国際自由労連, およびドイツを事例として— ..... 鈴木 均

2009年

現代史研究会

# 現代史研究

56

## 論文

第一次大戦後のフランス抑留ドイツ兵帰還問題に見る政治と人道

—連合国の帰還政策と赤十字国際委員会(CICR)による捕虜援助— …… 館 葉月

## 研究ノート

「マージナル・コロニアリズム」から「マダガスカル計画」へ

—ドイツにおける植民地の記憶(1884-1945)— …… 磯部 裕幸

雇用創出・失業保険・軍事支出

—ナチス・ドイツ再軍備研究の一視角— …… 原 信芳

スペイン内戦の勃発と「国民運動」の正当性

—バリャドリーにおける反乱開始と軍法会議— …… 横藤田稔泰

## 文書館事情

ケルン市歴史文書館

—倒壊から一年半—これからの可能性を中心に— …… 猪刈 由紀

2010年

現代史研究会

# 現代史研究

## 57

### 論文

- 第二次世界大戦後のイギリスにおける病院家事労働と移民女性  
 ——未熟練ではあるが必要不可欠な労働力の確保をめぐる—— ..... 奥田 伸子  
 「パン・ヨーロッパ」論におけるアフリカ・アジア ..... 北村 厚

### 研究ノート

- 「世界経済危機時、ドイツにおける失業給付制度再編構想」  
 ——労働組合と経営者団体の対立を中心に—— ..... 赤松 廉史  
 連合軍占領期のドイツにおける警察実践  
 ——ゲルゼンキルヒェン市の事例（1946-51年） ..... 金田 敏昌

### フォーラム

- ホロコーストと「普通の」ポーランド人  
 ——1941年7月イエドヴァブネ・ユダヤ人虐殺事件をめぐる現代ポーランドの論争——  
 ..... 解良 澄雄  
 「集会的記憶の場」としてのスペイン内戦—  
 「ラ・ベドラハ」共同墓穴発掘現場を見学して ..... 渡邊 千秋

### 3月例会

- 【解題】 ..... 小野寺拓也・西山 暁義  
 テロがつくりだす秩序—ナチズムとスターリニズムの比較 ..... イェルク・パベロフスキ  
 スターリニズム・全体主義論・比較史—パベロフスキ氏の報告原稿に寄せて ..... 塩川 伸明  
 パベロフスキ報告に寄せて ..... 半谷 史郎

### 書評

- 石井 聡 著 『もう一つの経済システム：東ドイツ計画経済下の企業と労働者』  
 （北海道大学出版会 2010年） ..... 河合 信晴  
 飯田 洋介 著 『ビスマルクと大英帝国 ——伝統的外交手法の可能性と限界—』  
 （勁草書房, 2010年） ..... 島田 昌幸

2011年

現代史研究会



# 現代史研究

58

## 論文

戦時期日本の対独文化事業政策方針

—日独文化連絡協議会における外務省文化事業部の政策的対応から— …… 清水 雅大

1920年代におけるジークフリート・クラカウアーの思想—

エルンスト・ブロッホとの比較を通じて …… 吉野恭一郎

## 研究ノート

東ドイツの学生による「抵抗」とハンガリー動乱 —ハレ県を中心に— …… 鈴木美和子

歴史研究におけるジェンダー視点

—20世紀初頭ザクセンの繊維労働者のストライキを中心に— …… 垂水 節子

## デジタル時代の歴史学

デジタル時代の歴史学—フランス …… 中村 督

## 書評

小原淳『folkと帝国創設—19世紀ドイツにおけるトゥルネン運動の史的考察—』（彩流社）

…………… 丸島 宏太

2012年

現代史研究会

# 現代史研究

59

## 論文

- ヴァイルヘルム期ドイツにおけるフェルキッシュ運動と宗教  
—雑誌『ハイムダル』における人種と宗教— …………… 齋藤 正樹
- 身体化された支配—ナチ期のカーニヴァル…………… マルティナ・ケッセル  
監訳 小野寺拓也、森田直子

## フォーラム

- ネイション・ナショナリズム研究の今後 …………… 中澤 達哉

## デジタル時代の歴史学

- デジタルヒューマニティーズ／デジタルヒストリーの情報源  
～デジタル時代の歴史学を考えるために～ …………… 菊池 信彦

## 書評

- 松本 彰 『記念碑に刻まれたドイツ—戦争・革命・統一』（東京大学出版会，2012年）  
…………… 小原 淳
- 橋本毅彦 『飛行機の誕生と空気力学の形成：国家的研究開発の起源をもとめて』  
（東京大学出版会，2012年）…………… 平清水史峻
- 田野大輔 『愛と欲望のナチズム』（講談社，2012年）…………… 河合 信晴
- 藤原辰史 『ナチスのキッチン—「食べること」の環境史』（水声社，2012年）…………… 石井 香江
- Peter Merseburger, *Theodor Heuss. Der Bürger als Präsident*, Deutsche Verlags-Anstalt, 2012  
…………… 爲政 雅代

2013年

現代史研究会

# 現代史研究

60

## 論文

- 強制移住と財産移転——民族ドイツ人の「帰還事業」を例に…………… 武井 彩佳  
1893年のシェヒター禁止と19世紀後半スイスの文化的ネーション形成…………… 梶山 洋子

## デジタル時代の歴史学

- ドイツにおけるデジタル化と歴史学  
—仮想研究環境 H-Soz-Kult について— …………… 齋藤 正樹

## 書評

- エトガー・ヴォルフム（飯田収治・木村明夫・村上亮訳）  
『ベルリンの壁 ドイツ分断の歴史』（洛北出版、2012年）…………… 佐藤 公紀  
高橋和・中村唯史・山崎彰編『映像の中の冷戦後世界：ロシア・ドイツ・東欧研究と  
フィルム・アーカイブ』（山形大学出版会、2013年）…………… 姉川 雄大

2014年

現代史研究会

# 現代史研究

## 61

### 論文

ナチズムと日本文化——W・ドーナートにおける日独文化提携の論理—— …………… 清水 雅大

### 研究ノート

第一次世界大戦前のドイツ海軍と太平洋のイギリス植民地  
—海軍を媒介とする帝国支配者の協調— …………… 大井 知範

### 4月特別例会

講演録：トマ・セリエ「ヨーロッパの記憶の場—理論と実践」 …………… 末次 圭介

### デジタル時代の歴史学

デジタル歴史学の最新動向  
—フランス語圏におけるアーカイブ構築およびコミュニティ形成の事例紹介—  
…………… 長野 壮一

### 書評

小野寺拓也著『野戦郵便から読み解く「ふつうのドイツ兵」  
第二次世界大戦末期におけるイデオロギーと「主体性」—』（山川出版社，2012年）  
…………… 森村 敏己

南 祐三著『ナチス・ドイツとフランス右翼  
—パリの週刊紙『ジュ・スイ・パルトウ』によるコラボレーション—』（彩流社，2015年）  
…………… 加藤 克夫

楨原茂編著『個人の語りがひらく歴史  
—ナラティブ／エゴ・ドキュメント／シティズンシップ—』（ミネルヴァ書房，2014年）  
…………… 深谷 直弘

吉岡潤著『戦うポーランド—第二次世界大戦とポーランド』（東洋書店，2014年）  
…………… 門間 卓也

2015年

現代史研究会

# 現代史研究

62

## 論文

「共同体」制定過程にみるフランス第五共和制憲法と脱植民地化 ..... 岩場由利子

## 博物館案内

ニュルンベルク裁判記念館とドイツの国際刑法政策 ..... 福永美和子

## 書評

- 宇山智彦編著『ユーラシア近代帝国と現代世界』（ミネルヴァ書房，2016年）  
..... 鍋谷都太郎
- 芝 健介著『ニュルンベルク裁判』（岩波書店，2015年） ..... 若林美佐知
- 河合信晴著『政治がつむぎだす日常—東ドイツの余暇と「ふつうの人びと」』  
（現代書館，2015年） ..... 石井 聡
- マーク・マゾワー著（池田年穂訳）『国連と帝国—世界秩序をめぐる攻防の20世紀』  
（慶應義塾大学出版会，2015年） ..... 長谷川祐平
- レギーナ・ミュールホイザー著（姫岡とし子監訳）  
『戦場の性：独ソ戦下のドイツ兵と女性たち』（岩波書店，2015年） ..... 今井 宏昌

2016年

現代史研究会